

# 俊光集

蛩

ほしもなきあまよのそらにかげみせて

おのればかりととぶほたるかな

いはつたふ庭のましみずおとふけて

とぶやほたるのかげぞすすしき

池蛩

庭の池のあしのはわたるゆふかぜに

みだれがちなるなつむしのかげ

窓螢

あつむぶきまどとしりてや夜半をへて  
わがやどにしも螢とぶらむ

江螢

ゆふやみはそことも見えぬみなと江の  
あしまあらはにとぶ螢かな

水辺螢

ほしもなくもれる夜半のいけみずに  
わがかげのみととぶほたるかな

沢螢

みだれとぶさはのほたるのひかりにも  
なほみずくらき草がくれかな

蛩待秋

よもすがらあしまづたひにとぶほたる  
かくれあらわれ秋やまつらむ

「国歌大観」より